

(改定案)

牧之原市教育大綱

牧之原市菊川市学校組合教育大綱



令和6年〇月

牧之原市

牧之原市菊川市学校組合

はじめに

市長のことば

2024年●月

牧之原市長

■教育大綱策定の趣旨

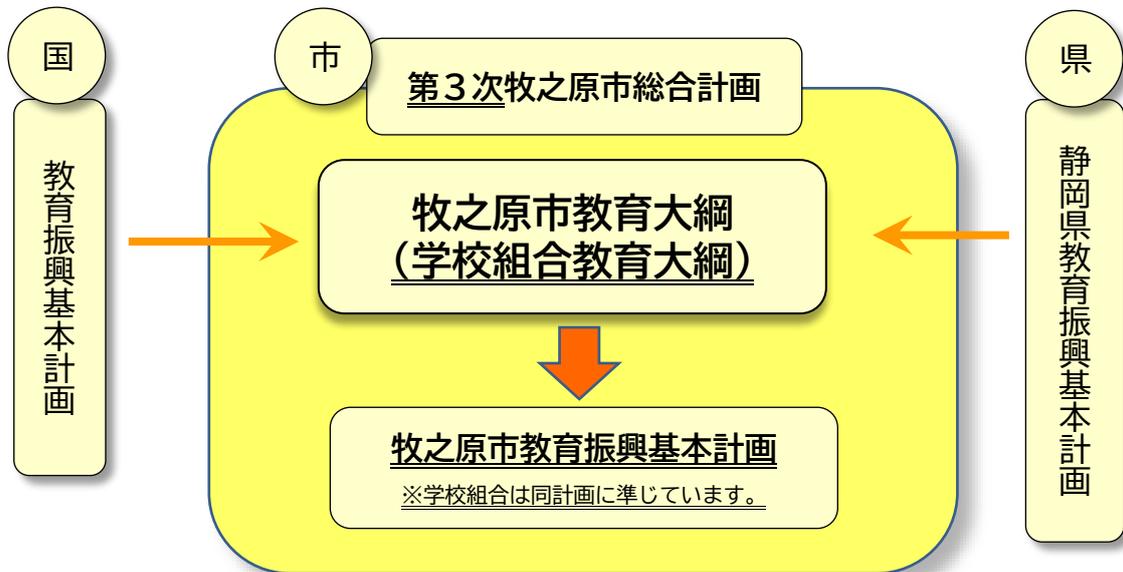
平成26年6月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、地方公共団体の長は地域の実情に応じて、教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることとされました。

牧之原市教育大綱及び牧之原市菊川市学校組合(以下、「学校組合」という。)教育大綱は、牧之原市及び学校組合の教育、学術及び文化の振興に関する様々な施策について、その根本となる考え方や目標を示すものとして策定しました。

なお、学校組合については、管理市である牧之原市の施策の影響をうける部分が非常に大きいことから、市に準じることとしています。

■教育大綱の位置付け

教育大綱は、牧之原市の教育の総合的な施策の考え方を示すものであるため、本市のまちづくりの基本となる指針である「第3次牧之原市総合計画」を基に策定され、牧之原市教育委員会において策定している「牧之原市教育振興基本計画」の土台となっています。



■教育大綱の期間

総合教育会議において、教育大綱は第3次牧之原市総合計画及び教育施策の重点を基に策定することとしたことから、総合計画と同様の期間とし、令和12年までとします。

■基本理念

(目指す教育の根本となる考え方)

こころざしを持ち 夢ある人づくり

本市では、すべての人がこころざしを持ち、自らの夢を実現でき、幸せを実感できる教育の実現を目指しています。

基本理念の実現ができる人として、次のような人物を育成を目指しています。

○気づき、考え、行動できる人

- ◆目標を達成する喜びと感動を知り、実践できる人
- ◆健康な体と心を持ち、自己肯定感を持つ人
- ◆自ら学び、考え、判断して行動できる人

○人を思いやり、人との対話を大切にできる人

- ◆人との出合いやふれあいを大切にし、お互いを認め尊重できる人
- ◆自立と共生の心を持ち、生命を尊重している人

■教育の目標

基本理念、目指す人物像の実現のため、2つの教育の目標を定めて、本市の教育を進めていきます。

1 確かな学力をつけ、次代を切り拓く力を育成します

人口減少問題など予測困難な社会経済の中で、答えのない問いに対応でき、持続可能な社会の作り手となるため、自ら気づき、考え、行動していくことが求められています。

そのために、安全・安心で学びやすい教育環境の整備を進め、健康な体と心を育み、確かな学力をつけるとともに、キャリア教育の推進、情報技術の活用、国際教育など次代を切り拓く教育を進めていきます。

2 豊かさが実感できる教育を推進します

人生100年時代と言われる中で、子どもから高齢者まで、地域に暮らす一人一人が学びを通して、世代を超えてさまざまな人とつながっていくことが重要です。そうした学びを地域活動につなげ、暮らしの中に生きがいと豊かさを実感しつつ、活力ある持続可能な地域の実現が求められています。

そのために、豊かな自然環境や伝統文化などを通じた郷土愛を育む機会の創出、生涯学習活動、図書環境の充実やスポーツ、文化芸術の振興を行い、活力ある人づくり、地域づくりを目指します。